

はじめに

制度のはざまにある社会や地域の課題解決に向けた新たな価値の創造へ

中央共同募金会では、戦後73年間、たすけあいの募金として「赤い羽根共同募金」運動を推進してきた経験をもとに、2016年に「赤い羽根福祉基金」をつくりました。

公的制度やサービスでは十分に対応できない地域課題や、制度のはざまにある社会課題の解決に向けて、先駆的で全国的なモデルとなる取り組みに対し助成を行っています。

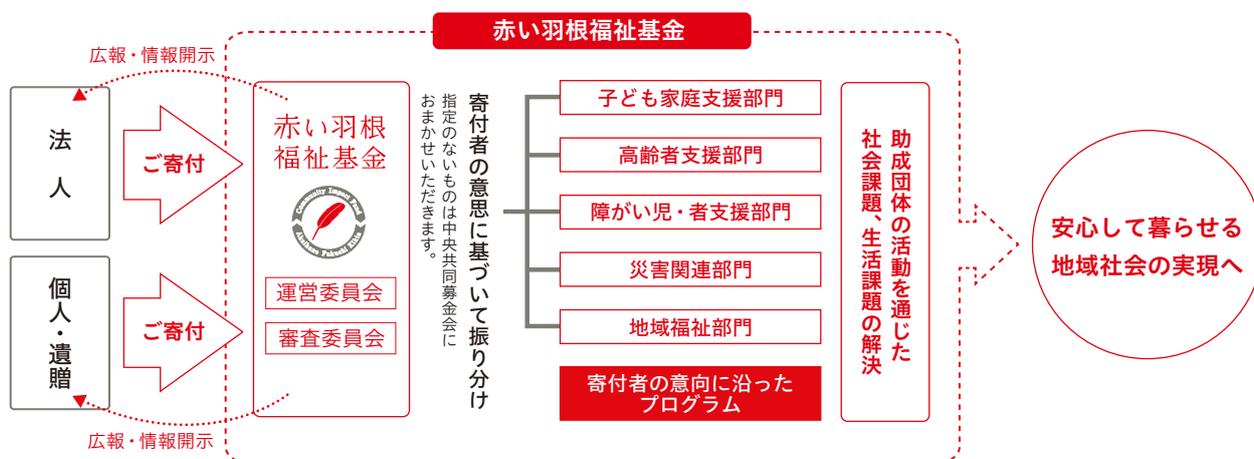
4年目となる2019年度は、21団体（継続助成10団体含む）に対して総額1億3,981万円の助成を実施しました。

本報告書は、2019年度に助成事業を終了した7団体が、多機関と連携・協働しながら必要な活動や人材、ネットワークなどの社会資源を創り出し、どのような成果をあげたのかを振り返るとともに、社会課題解決に向けた基盤やしきみづくりに生かしていくことを目的としています。

課題解決への期待を込めてご寄付をいただいた皆様に、深く感謝申し上げます。

## 赤い羽根福祉基金のしくみ 安心して暮らせる地域社会の実現へ

赤い羽根福祉基金は、公的制度やサービスでは対応できない社会課題の解決に向けて、多くの団体・機関と連携・協働しながら、必要な活動や人材、ネットワークなどの社会資源を創り出し、全国的なモデルとなる取り組みに対し助成を行っています。



## 赤い羽根福祉基金の助成内容について

**対象期間** 単年度から最大3か年 同一事業の実施期間は単年度から最大3か年まで

**助成額** 年間1,000万円を上限 各事業・活動に対して年間上限額1,000万円を助成

「子ども家庭支援部門」、「高齢者支援部門」、「障がい児・者支援部門」、「災害関連部門」、「地域福祉部門」の5つの部門の活動を支援しています。

## 赤い羽根福祉基金が取り組むSDGsとは？

SDGs（持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、総合的に取り組むことをめざしています。赤い羽根福祉基金は、公的制度やサービスでは対応できない社会課題を解決する活動への助成を通じて、SDGsのめざす社会の実現に向けた取り組みを進めています。

